

令和5年度府中市立府中第二中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ① 生徒自ら考え、自ら学ぶ
- ② 工夫して、効果的に学習に取り組む
- ③ 応用力を身につける

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 生徒の積極的な参加を促す授業の実施。
- ② 個々の生徒の特性に配慮した学習指導。
- ③ 個別のアドバイスを通じた自己学習の推進。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ① 自分自身の意見やアイデアを積極的に出し合い、主体的に学ぶ。
- ② 目標設定と計画を自ら行い、学習方法の選択と改善を行うことができる。
- ③ 実生活に関する問題などについて教科横断的に取り組み、解決方法を見つけることができる。

(2) 目指す授業像

- ① ディスカッションやプレゼンテーション、体験を取り入れた学習や、探求的な学習を推進する。
- ② ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業改善を行う。
- ③ 生徒自身が学びの進捗を把握できるようにフィードバックを充実する。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	デジタル教科書の読み上げ機能、図の拡大など ICT 機器を効果的に活用する。他者の意見を取り入れ、自らの考えを深める機会を充実させる。	美術	ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業の取り組みを強化する。
数学	デジタル教科書、e ラーニングなどの ICT の活用を段階的に進める。	技術	Classroom を用いて授業資料を提示し、授業内でなくても実技の復習ができるようにする。
社会	デジタル教科書の活用、タブレットの活用を通して個別最適な学びを実現する。	家庭	自ら課題を設定し、日常生活で実践することができる。
理科	図表作成や動植物調べなどの場面でアプリケーション活用していく。	保健体育	ICT を活用し、いつでも自分の実技の活動が振り返れるようにする。
音楽	ICT を活用し、多様な音楽表現に触れる機会を充実させる	外国語	e ラーニングなどの ICT 機器の活用を推進していく。

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

授業での調べ学習、表やグラフ作成、スライドの作成と発表。e ラーニング教材を用いた家庭学習。クラスルーム経由の課題配布と回収。